Photo Collection

～高校生が見つけた芝浦港南の魅力～

SKDs

未来の担い手育成プロジェクト

令和６年度（2024年）

SKDs

「SKDs未来の担い手育成プロジェクト」って？

S＝芝浦、海岸2・3丁目　K＝港南　D＝台場　s＝「Sustainable（持続可能な）」

令和3年度から始まった、若年層を対象に企業や大学等と連携し、地域を知り・地域で活動するためのボランティア及び地域活動への参加意識を高めるプログラムです。

近年、地域住民相互のつながりの希薄化、高齢化の進展による地域活動の担い手の減少などにより、子育てや高齢者支援、防災など地域活動を支える地域力の低下が危惧されています。

このような状況において、良好な地域コミュニティを維持・形成するためには地域におけるまちづくり活動の活性化、新たな担い手育成等に取り組む必要があります。

若年層を中心として地域で活躍できる機会を創出することで、地域の活性化を図るとともに、将来的には参加者が地域活動の担い手として活躍することを期待しています。

芝浦港南地区総合支所　協働推進課

CONTENTS

［もくじ］

2 「SKDs未来の担い手育成プロジェクト」について

レンズを通した［みんなのめ］ PART1

4 Section① 水辺とともにあるまち

11 Section② まちのなかの自然

COLUMN［地域の歴史をたどる］

14 探訪～伝統文化交流館～

レンズを通した［みんなのめ］ PART2

16 Section③ 歴史と発展するまち

21 Section④ 人々の暮らし

COLUMN［様々な試みを知る］

24 学ぶ ～ベイエリア活性化プロジェクト～

26 まちの人とともに 芝浦一丁目のまちづくり

東京科学大学附属 科学技術高等学校との連携 ～フォトブック～

東京科学大学附属科学技術高等学校1・2年生の希望者を対象に、高校生の目から見た港区、芝浦、海岸2・3丁目、港南、台場エリアの魅力を紹介するフォトブック『Photo Collection ～高校生が見つけた芝浦港南の魅力～』を作成し、地域の魅力を発信します。

水辺とともにあるまち

レンズを通した［みんなのめ］

Section①

いつもそばにある水の風景

芝浦、海岸2・3丁目、港南、そして台場と、水はいつもそこにあります。日々の暮らしやそこにいる人々とともにある水辺や海の風景を、レンズというフィルターを通して改めて見てみると……

環境にやさしい

ビルが反射してきれいだったから
（楊 蒼望）

通ります

川の上にたくさんの橋が重なって架かり、水を潰さず利用しているから（宮川 力）

台場の海とレインボーブリッジと

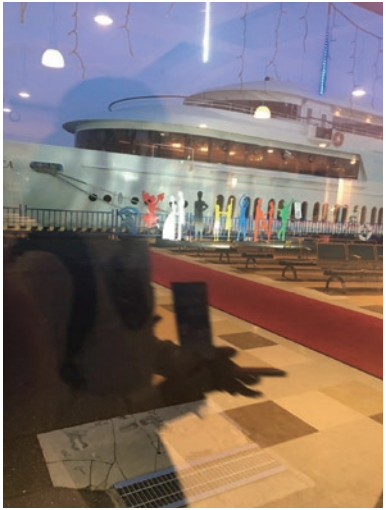
海が綺麗（北川にこ）

夕暮れ

夕暮れで影になったレインボーブリッジが綺麗だから（北川にこ）

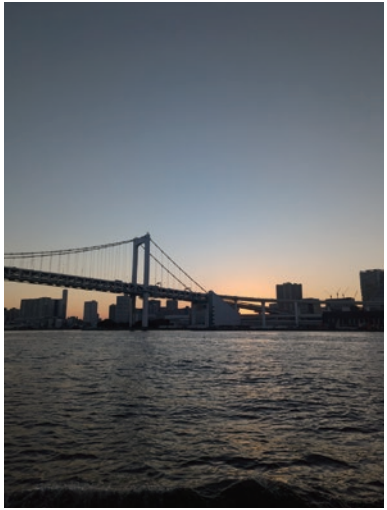
階段（日の出埠頭）

階段を昇ると目の前に空が見えるように設計された粋なデザインがかっこよかった
（大島幹大）



こんなところに港!?

こんなに近くに船があるのが
驚きでした（川島美遥）

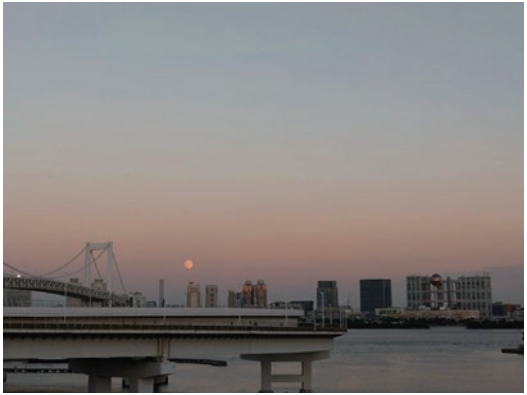


夕日

夕日と建物がきれいに映って
いたから
（西形きの）

夕焼けと船

夕焼けと船の色がきれいだったから（土田奏太）



暗くなる前の月

落ち着いた雰囲気にとれた
（中内咲希）

海辺を羽ばたく鳥

優雅にはばたく姿が美しかったから（加藤充貴）

rainbow bridge

写真の真ん中にまっすぐ橋が通っていてきれいだと思った（坂口陽菜子）

海と空の青

自然が織りなす青がきれいだから（加藤充貴）

きれいなカフェ

見た目がカフェとは思えないくらい
きれいで心惹かれたから（須藤 愛）

まちのなかの自然

レンズを通した［みんなのめ］

Section②

ふと見かける癒やし

港区は東京という都市のなかにあって、高層ビルやマンションが建ち並ぶ日本でも有数のまちです。一見すると無機質にも思える都市ですが、自然の存在を身近に感じることもできます。

木とビル

ビルに反射する雲が綺麗だったから
（土田奏太）

光輝く波

輝く波が美しいから
（加藤充貴）

サルスベリ（百日紅）

サルスベリ（百日紅）は美しい花が長期間咲き続け、景観に華やかさを与えることや、都市部での育成が比較的容易であるうえ、環境適応力が高いこと。そして、落葉樹であるため季節感が楽しめ、周辺の建物や植物と調和しやすいのも魅力的であること。加えて、病害虫に強く、管理がしやすい点からも、公共空間や庭園に最適な選択だと感じたから。なにより僕が好きです（富井羽悠真）

芝浦公園

ビルが奥にある中で手前に緑
（北川にこ）

探訪 | 港区立伝統文化交流館

［column］ 地域の歴史をたどる

港区立伝統文化交流館

芝浦1-11-15　☎03-3455-8451
開館時間：10:00～21:00　入館料：無料
休館日：年末年始（12月29日～1月3日）／臨時休館日（設備の保守点検等）

伝統文化交流館は「旧協働会館」を保存するため令和2（2020）年に開館しました。旧協働会館は、昭和11（1936）年に芝浦花柳界の見番として建設された都内に現存する唯一の木造見番建造物です。戦後は東京都により港湾労働者の宿泊所として使用されていました。

令和6（2024）年12月18日 伝統文化交流館取材の様子

“伝文館”について感じたこと

取材を終えて、高校生の感想

時代の流れで変化してきた芝浦の歴史に触れながら交流を深める

北川にこ
1年生

芝浦に花街があった、伝統文化交流館のような建物が多くある場だったことに驚きました。見番として使われなくなった戦後には労働者のための宿泊施設として使われるなど、時代ごとにさまざまな使い方をされてきたそうです。芝浦の歴史に触れる展示室のほか喫茶もあり、交流の間は勉強スペースとして利用できます。

受け継ぐべき伝統文化を体験型プログラムなどで広めては？

富井羽悠真
1年生

伝統文化交流館は、受け継ぐべき伝統文化が詰め込まれています。伝統文化を学びながら楽しめ、理解を深められます。展示室、喫茶室、自由に利用できる大広間のほか、アーティストによるワークショップの開催など、地域との繋がりを深める活動をしています。家族向けの体験プログラムなども開催してはどうでしょう。

時代の流れを映してきた日本独自の上品な近代和風建築

大島幹大
1年生

想像していたよりも近代に建てられたもので、ここ100年ほどの、とくに戦前戦後の建物の役割の変化、日本の姿が映し出されていることを知りました。日本独自の上品な近代和風建築を気軽に味わえます。開放されているので高校生でも利用が可能で、自習するのもおすすめです。高校生向けイベントを開催してはどうでしょう。

歴史と発展するまち

レンズを通した［みんなのめ］

Section③

都市を作る時間の流れ

都市は日々発展を続けています。後ろを振り返ってみると、そこには歴史も日々生まれています。発展と歴史。このふたつは常に対であり、ときには渾然一体となって、都市を作り上げています。

どんどん発展していく

手前から奥にかけて建物がどんどん大きく、新しくなっているように見え、発展がわかるから（宮川 力）

高層ビルってやっぱりロマンあるよね

高層ビルがたくさん建っていてかっこいいから（楊 蒼望）

混ざりあい

川から街を見たとき、高さの違うビルが立って
いて面白い街だと感じた（松永一貴）

隙間空

港区の高速と新たな建築物との隙間から見える空に港区らしさを感じた（大島幹大）

川沿い（芝浦1丁目）

意外なところに意外なものがあったから（北川にこ）

新芝浦運河沿緑地　運河沿いに整備された遊歩道で、楽器を演奏する「リバーサイドトリオ」という黒川晃彦の作品が置かれています。

都市の中の和

伝統的な日本建築が持つ温かみと美しさを感じさせる。木造の構造や繊細な彫刻、ランタンの光が、現代の建物にはない懐かしさを演出していると感じた。和風の屋根と格子窓が特徴的で、歴史的価値を感じさせるとともに、訪れる人々に落ち着いた雰囲気を提供する建築物であると考えたため（富井羽悠真）

浜松町へ走る光線

力強く走るモノレールと橋の青いライトアップが綺麗だったから（古川 侑）

港区を臨む

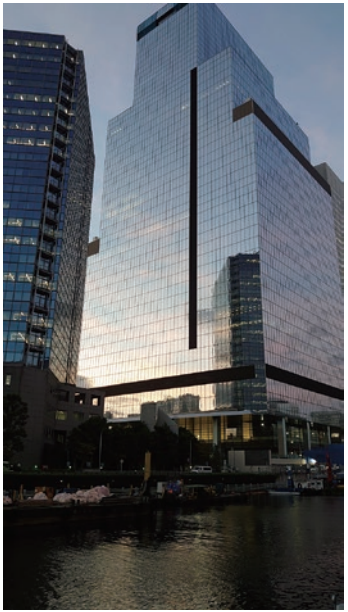
ライトアップされているレインボーブリッジとビルの光のコラボに圧倒されたから（古川 侑）

夜の田町に走る黄色

いつも使っている田町駅から見えた黄色い車体が美しかったから（古川 侑）

空と（空）

ビル一面の窓に空が映っていて
きれいだったから（西形きの）



片割れ

芝浦プロジェクトの片すみ
（西村 光）

人々の暮らし

レンズを通した［みんなのめ］

Section④

止まることのない日常

芝浦港南地区には多くの人々が暮らし、働いています。ときには人々の息遣いも感じられるほど。まちの個性を作り上げているのは、行き着くところ人なのです。人々の息づかい、暮らしが感じられるスポットにフォーカスしてみました。

働く人と日常の融合（品川シーズンテラス）

働く人々と日々の生活をする人が同じ場所で歩いているというのが、とても興味深く、楽しかったから（人見佳奈）

飲み屋街（品川駅周辺）

夜になると賑やかになるから（加藤充貴）

森永製菓

新しく建った建物でとてもきれいで
印象的だったから（西形きの）

ヒノデ

発展した町と、自然が多く、子どもたちが楽しそうに遊んでいる場所が隣り合わせで共存している（坂口陽菜子）

夜の道

夜の道でも、高層マンションなどによって明るく、でも少し寂しさのある街という感じがして楽しかったから（人見佳奈）

学ぶ

芝浦港南地区の水辺の取り組み

［column］ 様々な試みを知る

夏の風物詩、海水浴場が出現

お台場プラージュ

「泳げる海・お台場」の実現に向けた海水浴イベントです。パリ市と連携し、セーヌ川でバカンス気分を楽しめる「パリ・プラージュ」の雰囲気を、お台場で再現しています。

お台場の海で海苔づくり

お台場海苔づくり

お台場学園5年生の環境学習の一環として、専門家の指導のもと、お台場で海苔づくりを行っています。

運河etc.水辺の魅力を発信

水辺のまちサーキュラーLAB.

多くの人々が暮らすこのまちで、水辺との関わり方を考え、未来へつながるアクションを起こすプロジェクトです。

芝浦港南エリアの活性化

高校生が見て、感じたこと

地域の意見を取り入れた参加可能なイベント開催が多数

北川にこ
1年生

オリンピックイヤーにフランスと連携したイベントを開催していたことや、地域の意見を取り入れ、水辺での映画鑑賞などのイベントも開催していたことを知り驚きました。また、お台場の海では、夏の海水浴のほか、申し込みをしなくても参加できるイベントが多く開催されていて、今年はパリとコラボイベントが行われていました。

ベイエリアの大きな変化や海を使ったイベントに驚き

西村 光
1年生

ベイエリアでは昔は漁を行い、倉庫などがあったそうです。その後、クラブなどの商業施設が建ち、今では大きなマンションが建ち並んでいると知り、変化に驚きました。また、海を使ったさまざまなイベントが行われていて、イベント内容がとても面白いと思いました。なかにはパリオリンピックとコラボしたものもあったそうです。

行政と地域住民との共同作業が豊かな生活へとつながる

富井羽悠真
1年生

問題があった場合、市民と共同で解決策を見つけていることや、住民が直接参加できるプロジェクトがあることを知りました。イベントやボランティア活動に参加できるので、地域の問題解決のチャンスがあると思いました。行政サービスにとどまらず、地域住民の生活を豊かにするための取り組みが多岐にわたっていると実感しました。

水辺地域の今と昔の話が面白く下水の排水の話に合点が！

土田奏太
1年生

地域の話を聞いてみると面白いです。昔は漁業が盛んだったということに驚きました。お台場では現在も海苔がとれるそうです。また、フランスでの水辺の楽しみ方は、泳ぐだけでなく水辺での読書もあると知りました。下水の排水方法で、合流式と分流式があり、東京都では地下鉄などの施設が多いため、合流式を採用しているそうです。

まちの人とともに

芝浦一丁目のまちづくり

芝浦一丁目地区まちづくり協議会

事務局：一般社団法人芝浦エリアマネジメント

令和３年 に「BLUE FRONT SHIBAURA」の敷地を含む芝浦一丁目地区において、地元町会、地域関係者や行政とともに「芝浦一丁目地区まちづくり協議会」が設立されました。

令和６年度には芝浦のまちの未来について考える「未来ビジョン」ワーキングを実施、まちの未来の担い手にもむけた活動を行っています。

BLUE FRONT SHIBAURA

芝浦プロジェクト

野村不動産株式会社と東日本旅客鉄道株式会社が、共同で推進している「BLUE FRONT SHIBAURA」は、浜松町ビルディングの建替事業として、令和7年に竣工するS棟と令和12年度に竣工するN棟からなるツインタワーの建設を予定しています。

Hi-NODE （ハイノード）

日の出ふ頭小型船ターミナル

「BLUE FRONT SHIBAURA」の関連事業で舟運と地域の活性化を目指し令和元年に開業しました。船客待合所のほか飲食施設や芝生広場があり、地域に親しまれています。

参加者の皆さん ｜ 東京科学大学附属科学技術高等学校

1年生	川島美遥
	須藤 愛
	人見佳奈
	松永一貴
	宮川 力
	楊 蒼望
	大島幹大
	北川にこ
	土田奏太
	富井羽悠真
	西村 光
	古川 侑
2年生	中内咲希
	西形きの
	加藤充貴
	坂口陽菜子
指導教諭	北原裕子
	中野沙恵

SKDs

未来の担い手育成プロジェクト

令和６年度（2024年）

発行年月　2025年3月10日発行
発行　港区芝浦港南地区総合支所 協働推進課
協力　東京科学大学附属科学技術高等学校
芝浦一丁目地区まちづくり協議会
一般社団法人 芝浦エリアマネジメント
野村不動産株式会社
港区立伝統文化交流館

※本誌内、各氏名敬称略

※本冊子の無断転載・複製を禁じます。

発行番号 2024252-2435